

過去問の学習方法

1. 毎年同じことを書いていますが、無料公開は初めて見る方もおられるのでご了承下さい。過去問は最高のバイブルです。専門校の答練にも良問はありますが、やはり本試験に叶うものではありません。特に事例Ⅳの経営分析は、各企業の数値を徹底的に洗い出す練習をすれば、必ず本試験での対応力を確保できます。平成 28 年度は、ここ最近の傾向を反映して解きやすい問題だったと思います。びっくりするような問題はありませんでした。

事例Ⅳの本番での対処方法

1. 最初の 15 分は、とにかく我慢。どこに配点があるか？そのうち自分は、どこで点を取るかをしっかり設計する。
一読した段階では、「正社員が多い」「最近の閉店が気になる」「県内客は？」「人材育成に力入ってる」「積極投資」くらいが気になる程度です。解答要求をみると、第一問は 2/3 は取りたい。CF は必ず満点、設問 2 は①はしっかり読み込む。②は本番では対応難しいので私なら捨てます。第 3 問、第 4 問は満点近くまでもっていく。そんな感じで 65~75 点くらいは確保できます。
2. 「いける」と思って途中まで実施した問題であっても、途中で無理と感じたら「すっぱり、あきらめる事」も大事
3. 記述問題は、とにかく「解答要求」と「与件」を照らし合わせれば、「何か」書く事は可能。過去の受験者から「あの答案で A とはビックリ」という声はよく聞きます。決してあきらめず、最後の 1 分まで力を振り絞ってください

ホームページで私の開示要求できた 2 回分の成績を公開しています。

最終的には、財務の充実と「ふぞろいな合格」シリーズで合格できたと確信しています。

予備校の気に入る答案ではなく、試験に通る答案を目指しましょう。

では、確実に取りたい論点から説明します

第1問

では今回の問題をD社と競合他者を比較してみましょう（下記の数値はチェックした方が良い）

	指標名	前期	当期
収益性	総資本経常利益率 (総合的な収益性を判定)	15.77%	10.56%
	売上高総利益率	50.66%	48.62%
	売上高営業利益率	11.91%	11.38%
	売上高経常利益率	11.31%	10.11%
効率性	総資本回転率	1.39回	1.04回
	棚卸資産回転率	118.71回	94回
	有形固定資産回転率	2.90回	1.77回
	売上債権回転率	63.92回	67.14回
短期安全性	流動比率	163.04%	55.70%
	当座比率	128.26%	44.95%
長期安全性	固定比率	107.23%	173.71%
	固定長期適合率	81.00%	147.36%
	自己資本比率	58.05%	41.00%
	負債比率	72.25%	143.90%

※当座資産は現金預金＋売上債権で計算しています（中小企業庁方式）

他にも流動資産－棚卸資産で計算する方法もあります。その場合は記述欄に記した方が良いでしょう。

※今回は「前期と比較した場合のD社の課題」なので、減損損失の取扱いが悩ましい。一般的に考えると、減損は前期以前の投資が原因なので、当期純利益率は失点の可能性が高いと思われます。但し、前記と当期の財務諸表で判断できる課題と考えれば、当期の積極投資とあわせて考えると、記述の書き方によっては得点になると思われます。

<与件分から考えられる指標・事象>

正規従業員 81 名の→売上高販売管理費率

客単価も維持できている・・・売上高総利益率（維持なので解答には当てはまりにくい）

1 店舗を閉店・・・有形固定資産回転率

業績は順調に推移・・・売上高営業利益率

創作料理の業績不振・・・「順調に推移」との関連一回転率関連の指標をチェック

積極投資→減損出ている事を考えると積極投資は裏目の可能性→有形固定資産回転率（新店舗も）

【前期との比較もあわせると】

売上高経常利益率・有形固定資産回転率・負債比率・流動比率あたりが有力

<記述のポイント>

原因は用地のみの取得（投資）で当期の売上に貢献できていない事。また積極投資の原資を短期借入金でまかなっているため短期の安全性が低下している事である。

第2問

(設問1)

CFは10分かけても良いので満点を目指そう

(設問2)

①時の流れが読みにくいので、しっかり時間をかけよう

	期首	6年間				期末(6年後)
	1年目 当初投資時点	2年目 当初投資 の1年後	3年目	4年目	5年目	6年目
土地	△320					
建物		△420				
(減費-簿価)		14	14	14	14	14(350)
器具		△50				
(減費-簿価)		5	5	5	5	5(25)

※1年後が2年目をあらわすので、このあたりの読み解きを間違えると大幅な失点となる

赤字は解答用紙の表現から確認できます。

問題文には<5年間(2年目から6年目まで)のCF>と書いているので、1年目の期首から数えて6年後までのシミュレーションと読む事ができる(悩ましいが)。なので、建物・備品は5年間の償却、そして現価係数は6年を使う事になる。

でも作問者の日本語能力は本当に改善されませんね・・・

赤字は、解答用紙の表現

②は捨て問とさせていただきます。一応計算式は記しておきます(当日の対応は不可能でしょう)

考え方は、増加分CFをXと置き

$$X \times 4.2124 \times 0.9434 \quad - \quad (320 + 443) \quad + \quad (226 + 264) \quad \geq 0$$

5年間のCF 投資額の現在価値 売却額の現在価値

$$X = 68.96 \dots \rightarrow 69 \text{ 百万円}$$

第3問

これは、確実に満点とりましょう

第4問

(設問1)

収益は増加する

変動費は増加するが固定費は予約管理費分が減少するが、システム維持費が増加する

こんなイメージで書ければよいでしょう

<ケース1>

	①	②	③
売上	1,120	1,120	1,120
変動費	560	↑ 553.28	553.28
(送客手数料以外)	539.84	↑ 539.84	
(内送客手数料)	1.8%(20.16)	1.2%(13.44)	
限界利益	560		
固定費	430	↑ 426	430
減価償却費		(+4)	
(内予約管理費)	(12)	(△8)	
B E P	860	841.89	849.80

★動画で話している配点予想（傾斜こみ）を記しておきます

		小計	取りたい点数
第1問			
設問1			
名前 (a)	2×3	6	4
数値 (b)	3×3	9	6
設問2		10	6
		(25)	(16)
第2問			
設問1		10	10
設問2①			
土地 現在価値	1	1	1
売却価値	2	2	2
現在価値	2	2	2
計算過程	2	2	2
建物等 現在価値	1	1	1
売却価値	2	2	2
現在価値	2	2	2
計算過程	3	3	3
設問2②	3+7	10	
		(35)	(22)
第3問			
a	5	5	
b	10	10	
		(15)	(12)
第4問			
設問1	10	10	
設問2			
①a+b	2+3	5	
②a+b	2+3	5	
③a+b	2+3	5	
		(25)	(22)
			72点